

第3回 「私の休暇の過ごし方」

カンボジアにて活動中の堂脇さん／ 職種：看護師



私の任地、シハヌークビルには素敵なビーチがたくさんあります。日本からはまだまだ知られていない穴場の観光スポットとして、ヨーロッパ人や中国人が多く訪れています。

私も、休日は海に出かけ、泳いだり、ビーチ沿いを散歩したり、夕日や海を眺めたりして癒されています。日本に比べて物価もとても安く、フルーツシェイク 100 円、ビールはなんと 50 円～というお手頃な価格です。地元のお姉さんたちが歩き売りしている炭火焼きの海鮮とビールを片手に、海に落ちていく夕日を眺める瞬間は格別で、日々の辛いことなんてちっぽけなことに感じられる幸せな時間です。



マダガスカルにて活動中の河本さん／ 職種：コミュニティ開発



私の趣味はフットサルです。マダガスカル人もサッカーが大好き。毎週末、近くの村に行き子供たちとボールを蹴っています。サッカーの試合もよく行われており、多くのマダガスカル人が集まります。

ブラジルにて活動中の中野さん／ 職種：日系日本語学校教師



私が住んでいる町は内陸のため海はありませんが、周りには大きな自然が広がっています。車で 40 分ほど走った町には大きな川があり、そこで釣りをされる方もたくさんいらっしゃいます。また、農場を持っている方もいらっしゃり、その敷地には牛、馬、羊がいたり、大きな池があってそこで釣りを楽しまれる方もいらっしゃいます。休みの日には時々農場へ連れていってもらい、みんなで釣りをしたり、様々な果物を収穫したりして過ごしています。

エチオピアにて活動中の黒田さん／ 職種：バレーボール



私の休暇の過ごし方は市場に出かけ、生きていた鶏を買ってきて、捌いて、料理することです。私の任地はエチオピアの田舎である為に、牛肉と羊の肉以外の肉を買うことは出来ません。しかし、生きていた鶏は市場で購入することができるので、市場に出かけ、肉付きがよく、出来るだけ若く安い鶏を探します。一羽を 150 ブル～200 ブル（日本円で約 750 円～1000 円）程で購入後、家に持ち帰り捌いて料理します。最初は生きていた鶏を捌くことに強い抵抗を感じましたが、任地で鶏を料理するにはこの方法しかありません。おかげで、鶏の捌き方を習得しましたし、鶏の部位について詳しく知ることが出来ました。また、命を頂いている事を実感し食べ物に対する感謝の気持ちもより一層強く持つようになったと思います。

ウズベキスタンにて活動中の藤木さん／ 職種：青少年活動



Ассалому алайкум!!

ウズベキスタンに来て、1ヶ月がたとうとしています。1ヶ月は首都のタシケントでホームステイをしながらの語学研修のため、休日は先輩隊員にタシケントを案内してもらったり、ホストファミリーと一緒に出かけたりしています。先日は先輩隊員と一緒に、タシケント市内を回りました。

写真はモスクとバザールの写真です。

ウズベキスタンはイスラム教のため、現地の人たちがお祈りするモスクがあります。1日5回お祈りするそうで、お祈りの時間を知らせるボードもありました。バザールでは、野菜や果物、お肉やパンなどいろいろなものを買うことができます。特に今の時期は果物が豊富で、とても安く購入できます！バザールによっては、写真のように鶏やひよこ、犬やねこ、はりねずみにうさぎ、亀などが売られています。

新しい発見がたくさんあってとても面白いです！

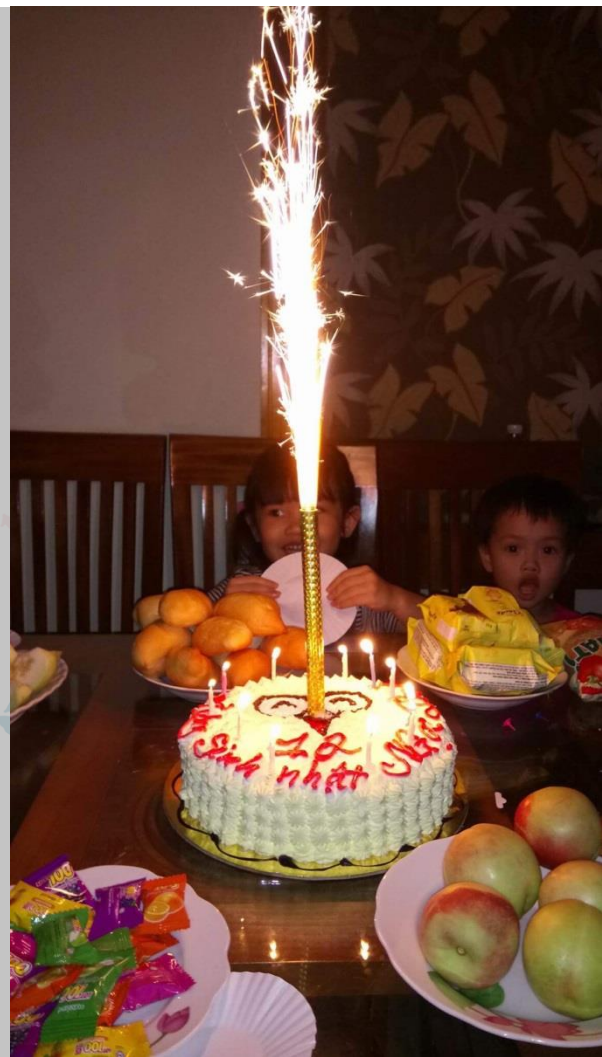
いよいよ任地赴任も近づいてきました。任地でどんなことが待っているのかとても楽しみです♪

マダガスカルにて活動中の水野さん／ 職種：柔道



私は泳ぐのが好きなので市内にあるプールに行って泳いだり、友人と郊外にピクニックに出かけたり、時には長距離ランをして週末を過ごしています。というものの私の任地首都は、とても車が多く排気ガスが充満しているので、そこから脱出(笑)するのが一番の目的です。長期休暇を頂いた時には、マダガスカル国内や海外旅行にも行っています。

ベトナムにて活動中の竹澤さん／ 職種：作業療法士



ベトナムの朝は市場にたくさんの肉や野菜が並び、多くの人を訪れ活気があります。ドラゴンフルーツやマンゴーなど日本ではなかなか食べられない果物を買って食べるのが楽しみです。またベトナムはコーヒー大国です。いたるところにカフェがあり、老若男女おしゃべりを楽しんでいます。おすすめはカフェスアチュア(ヨーグルトコーヒー)です。ベトナムは子どもが多いためか、同僚の子どもの誕生会によく呼ばれます。ケーキを買ってハッピーバースデーの歌を歌う文化は日本と同じです。